

富士通社製
SPARC Enterprise T5220における
「USDLT-320」
「USDLT-600」
「UDAC-72x6e-QU」

動作検証報告書

2008年6月11日

株式会社ユニテックス
プロダクトサポート部

技術資料番号 : No. 197-2

Rev	更新日	変更概略
A	2008年6月11日	新規作成

1 概要

富士通社製 SPARC Enterprise T5220 にて、USDLT-320/USDLT-600/UDAC72x6e-QU の各テープ装置が正しく認識され、且つ正常に Read/Write 可能か検証を行う。
尚、今回は OS 標準コマンドである tar 及び dd コマンドのみ検証する事とする。

2 検証場所

(株)ユニテックス 本社 2F

3 検証期間

2008 年 6 月 10 日～6 月 11 日

4 検証環境

【サーバー】

コンピュータ	富士通製 SPARC Enterprise T5220
CPU	UltraSPARC-T2 (cpuid 31 clock 1167 MHz)
メモリ	196080 KByte
OS	Solaris 10 OS(SunOS set5220-08 5.10 Generic_127111-10)

【使用ドライブ】

- USDLT-320 (TANDBELG DATA SDLT320/備品 U00394)
- USDLT-600 (Quantum SDLT600/備品 U00593)
- UDAC-72x6e-QU (Qunatum DAT70x6e-QU/備品 U00586)

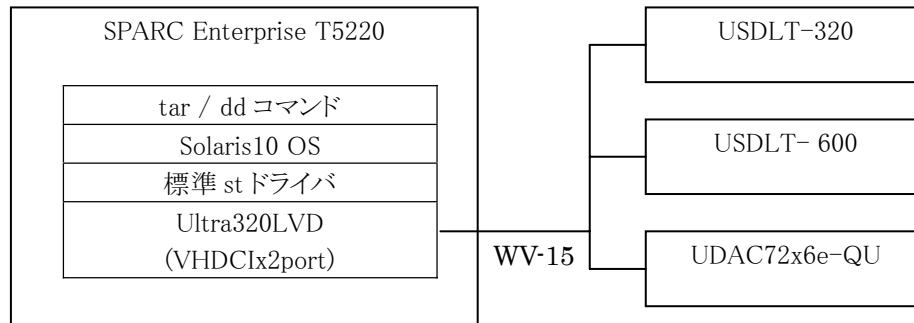
【使用メディア】

- maxcell Super DLTtape I (型番 SDLT1/1800 E)
- maxcell Super DLTtape II (型番 SDLT2/2100 E)
- maxcell DAT 72/36GB(型番 HS-4/170S(D))

【使用データ】

- ・ 約 2GB (2087, 373, 824 Byte) 1 ファイル

【構成図】



5 検証結果

- ① probe-scsi-allによる装置の正常認識を確認しました。
- ② “mt status”コマンドによるOSから装置の正常認識を確認しました。
- ③ tarコマンドによるRead/Writeが正常に行える事を確認しました。
- ④ ddコマンドによるRead/Writeが正常に行える事を確認しました。

以下はパフォーマンス試験結果となります。

デバイス名		/dev/rmt/0l	/dev/rmt/0m	/dev/rmt/0h	/dev/rmt/0c
装置名 USDLT-320	Write	10,453 KB/s	18,874 KB/s	14,457 KB/s	26,821 KB/s
	Read	10,347 KB/s	17,275 KB/s	15,925 KB/s	27,179 KB/s
USDLT-600	Write	31,360 KB/s	32,878 KB/s	32,878 KB/s	48,534 KB/s
	Read	31,850 KB/s	31,850 KB/s	31,850 KB/s	41,601 KB/s
UDAC72x6e-QU	Write	3,220 KB/s	3,235 KB/s	3,225 KB/s	4,959 KB/s
	Read	2,924 KB/s	2,933 KB/s	2,945 KB/s	5,631 KB/s

※ 結果は同一コマンドを3回実行した平均です。

※ Write/Readには以下コマンドを実行しました。

Writeテスト : dd if=入力データファイル of=出力テープデバイス bs=65535

Readテスト : dd if=入力テープデバイス of=出力データファイル bs=65535

6 お問い合わせ先

株式会社ユニテックス

Tel : 042-710-4630

Fax : 042-710-4660

E-Mail : sales@unitex.co.jp

Web サイト : www.unitex.co.jp

—以上—